



新庁舎建設事業 NEWS

vol.

8

新庁舎建設事業の進捗状況をお知らせします。

新庁舎建設基本計画（案）を策定しました。

これまで検討を進めてきた新庁舎建設について、新庁舎建設検討委員会の答申を踏まえ、基本計画（案）を策定しました。この計画は、新庁舎に備える機能や規模、建築計画や事業計画などをより具体化し、今後の設計や工事を進めるうえでの基本的な整備方針を整理するものです。

今回は、基本計画（案）の概要について、新庁舎建設事業NEWS⑧と⑨でお知らせします。

新庁舎建設に向けた基本的な考え

新庁舎はまちづくりの拠点として、市民や地域をつなぐネットワークを形成し、様々な主体が協働し連携して、まちづくりを進めていく必要があります。そのためにも分散化している行政機能を集約し、複数の情報を一度に得られるなど市民を支援する体制を整え、市民が利用しやすい庁舎になることが求められます。

また、庁舎と文化会館の複合化については、今後の人口減少社会に、公共施設の統合、複合化により機能を再編し、将来の市の負担を軽減する必要があるとともに、単なる施設の合築ではなく、それぞれの持つ機能の特色を最大限に活かし、市民と行政の連携強化、新たな賑わいの創出、文化芸術の発展や更なる広がりといった、まちの賑わいや魅力を発信し、まちづくりに寄与する施設にする必要があると考えています。

新庁舎建設にあたり、文化会館機能を複合化することにより、新たな付加価値を求め、賑わいのある持続可能なまちづくりを目指し、新庁舎建設のテーマを次のとおり設定し、防災や災害対応の拠点の強化を念頭に、基本方針を5つ設定しました。

■ 新庁舎建設のテーマ

人、まち、自然をつなぎ、次世代の子どもたちへつなぐ庁舎

■ 新庁舎建設の基本方針 ～ 「防災や災害対応の拠点の強化」を念頭に ～

防災拠点機能を発揮できる災害に強い庁舎

防災・災害対応の拠点として、耐震性能を確保した安心安全な災害に強い庁舎とします。

市民が利用しやすい庁舎

行政サービス提供の拠点として、分散化している行政機能を集約し、市民の利便性に優れ、わかりやすい開かれた庁舎とします。

人や環境にやさしい庁舎

バリアフリーやユニバーサルデザインの観点を取り入れ、全ての人が利用しやすい庁舎とするとともに、省エネ・省資源を取り入れた環境負荷の少ない庁舎とします。

機能性・効率性・経済性を重視した庁舎

多様化する行政需要に対応し、将来の変化に柔軟に対応できる機能性と、維持補修や設備更新などがしやすい管理運営上の効率性や、ランニングコストを抑えた経済性を重視したシンプルで、スマートな庁舎とします。

市民が気軽に訪れて親しみやすい庁舎

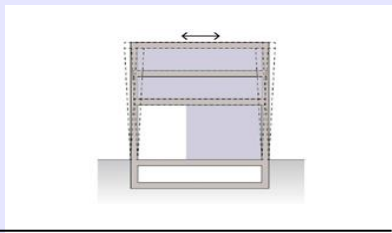
文化会館機能と複合化することにより、市民が気軽に訪れて集える場として、市民の活動を支援し、交流や憩い、まちづくりを考える協働の場として、行政情報や市民活動の情報を積極的に発信する庁舎とします。

新庁舎に備える機能（主なもの）

基本方針に基づき、新庁舎に備える具体的な機能を次のとおり設定します。

防災拠点機能

- 防災拠点施設としての機能が十分に発揮できる耐震性能の確保
- 床のかさ上げ、防潮板等の設置による浸水対策
- 72時間稼働できる非常時の各設備のバックアップの整備
- 災害時のライフラインの確保
- 災害対策本部の整備
- 備蓄資機材等の確保

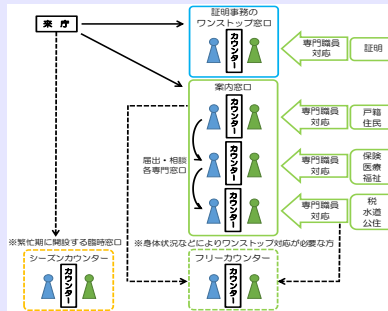


地震力に対し剛強な架構で抵抗する構造形式。建物の揺れはあっても倒壊はない。

耐震構造の採用

窓口機能

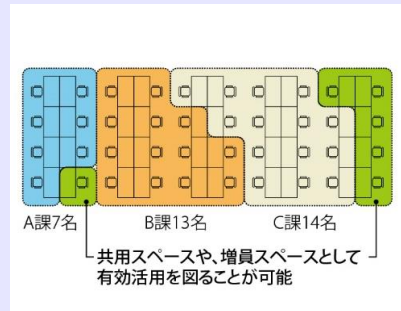
- 利用頻度の高い窓口の低層階配置、関連部署の近接など利便性の高い部署配置
- ワンフロアサービスの採用
- 証明書発行等のワンストップ窓口や繁忙期に申請業務を受け付ける窓口（シーズンカウンター）の設置
- 衝立て、相談室の設置による窓口でのプライバシー確保



窓口構成概念図

行政事務機能

- ユニバーサルレイアウトの導入
- 利用人数に合わせて可変する会議室の設置
- 相談室、行政事務スペース内の資料保管場所の設置
- 日常的に必要なとなる打合せスペース、作業スペースの設置
- 行政文書の電子化による保管量の削減と書庫スペースの効率化



ユニバーサルレイアウト

議会機能

- 同一階に集約したコンパクトな議会関連諸室
- バリアフリーに配慮した議会専用議場の設置
- 市民が傍聴しやすくするとともに議事進行に配慮した傍聴席の設置
- 未使用時に市職員利用も可能とした控室、会議室の設置
- 情報端末、情報通信機器の整備

バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能

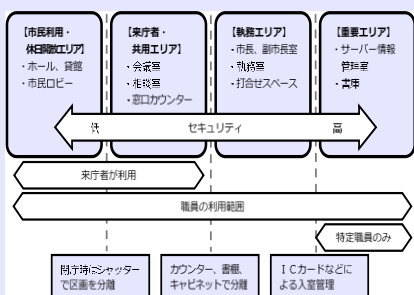
- わかりやすい案内表示板の設置
- 色や配置を工夫したわかりやすい窓口表示
- ゆとりのある通路幅の確保
- キッズスペース、授乳室、オムツ替えスペースの設置
- トイレ内ベビーチェアの設置
- トイレや階段の人数センサーによる照明制御

市民活動支援機能

- さまざまな演目に対応可能な固定式の客席形状をもつ多目的ホールの設置
- 庁舎と文化会館の共用利用を想定した会議室・研修室の設置
- 市民協働・交流スペースとして活用できる空間の確保
- 飲食スペース、自動販売機コーナーの設置などの設備の設置

セキュリティ機能

- セキュリティレベルによる入退出管理
- ICカード等による施錠管理、防犯カメラの設置
- 情報セキュリティ対策



セキュリティレベルのイメージ

省エネ・省資源機能

- エネルギー消費量の削減を目指す建物の外郭性能の確保
- 自然採光、自然通風による換気等、自然エネルギーの活用
- 木材等の再生可能資材の積極的利用



環境に配慮した庁舎のイメージ

維持・管理機能

- 長期的な使用期間に十分耐えうる物理的な耐久性を持った建築構造
- オープンフロア、OAフロア、ユニバーサルレイアウト、可動式仕切り壁などレイアウトの自由度が高く、将来の行政需要に対応できるフレキシビリティの高い構造
- 汚れにくく清掃のしやすい材料の選定や形状